



令和8年度
みなさんにおすすめしたい本

高学年

板橋区教育会学校図書館研究部
板橋区立図書館児童担当者会

令和8年度 みなさんにおすすめしたい本

高学年向け

板橋区教育会学校図書館研究部
板橋区立図書館児童担当者会

No.	書名	作者	出版社	記号
1	二平方メートルの世界で	前田 海音/文	小学館	E
2	<u>おこなわ跳びません</u>	赤羽 じゅんこ/作	静山社	917カ
3	ひと箱本屋とひみつの友だち	赤羽 じゅんこ/作	さ・え・ら書房	917カ
4	シャンシャン、夏だより	浅野 竜/作	講談社	917サ
5	ぼくんちのねこのはなし	いとう みく/作	くもん出版	911ト
6	人間になりたかった犬	今西 乃子/作	新日本出版社	911マ
7	岬のマヨイガ	柏葉 幸子/著	講談社	91カク
8	<u>風花、推してまいる！</u>	黒川 裕子/作	岩崎書店	917ロ
9	サステナブル・ビーチ	小手鞠 るい/作	さ・え・ら書房	917フ
10	<u>きさらぎさんちは今日もお天気</u>	古都 こいと/作	Gakken	917ト
11	江戸の空見師 嵐太郎	佐和 みずえ/作	フレーベル館	917チ
12	じいちゃんの山小屋	佐和 みずえ/作	小峰書店	917リ
13	アリババの猫がきいている	新藤 悦子/作	ポプラ社	917ニ
14	チポロ	菅野 雷虫/著	講談社	917ホ
15	バウムクーヘンとヒロシマ	巢山 ひろみ/著	くもん出版	917セ
16	夏に、ネコをさがして	西田 俊也/作	徳間書店	917シ
17	あぐり☆サイエンスクラブ (全3冊)	堀米 薫/作	新日本出版社	917チ
18	ぼくたちのいばしょ 亀島小多国籍探偵クラブ	蒔田 浩平/作	文研出版	917キ
19	金色の約束	松本 聡美/作	国土社	917ツ
20	三島由宇、当選確実！	まはら 三桃/著	講談社	917ハ
21	魔法のほね	安田 登/著	亜紀書房	917ヤ
22	昨日のぼくのPART	吉野 万理子/著	講談社	917シ
23	希望の図書館	リサ・クライン・ランサム/作	ポプラ社	93ク
24	その魔球に、まだ名はない	エレン・クレイジス/著	あすなる書房	93ク
25	ぼくたち負け組クラブ	アンドリュウ・クレメンツ/著	講談社	93ク

☆リストの作成にあたっては次のようなことを目安として本を選びました。

- 1 楽しく、おもしろく読め、子どもの気持ちにあった親しみやすい本
- 2 子どもの年齢に合った、読みやすく夢のある本
- 3 名作ものごたは、できるだけリストにいれないようにしました。

読書は、人生をより深く生き抜く力を身につけます。より多くの本との出会いを重ねるよう願っています。今回も皆さんが、本を選ぶ何らかの手がかりになるようにと、区内の小学校の先生と区立図書館の児童担当者でこの一覧表（改訂版）を作成しました。また、区立図書館や学校図書館には、よい本がありますので、ぜひ読んでみてください。

	No.	書名	作者	出版社	記号
物語	26	ぼくと石の兵士	リサ・トンプソン/著	PHP研究所	93ト
	27	起業家フェリックスは12歳	アンドリュー・ノリス/著	あすなる書房	93ノ
	28	ブーさんの戦争 世界一有名なクマのお話	リンジー・マティック/文	評論社	93マ
	29	おじいちゃんとの最後の旅	ウルフ・スタルク/作	徳間書店	94ス
	30	ミスターオレンジ	トゥルース・マティ/作	朔北社	94マ
	31	テオの「ありがとう」ノート	クロディーヌ・ル・グイック=ブリエト/著	PHP研究所	95ル
ことば・詩	32	ことばハンター	飯間 浩明/著	ポプラ社	81
	33	ぼくがゆびをばちんとならして、きみがおとなになるまえの詩集	斉藤 倫/著	福音館書店	91サ
伝記・社会・自然科学	34	自由への道 奴隷解放に命をかけた黒人女性ハリエット・タブマンの物語	池田 まき子/文	学研プラス	28タ
	35	あかい自転車 ビッグ・レッドのながい旅	ジュード・イザベラ/文	六耀社	E
	36	すごい！ミミックメーカー 生き物をヒントに世界を変えた発明家たち	竹内 薫/監修	西村書店	E
	37	フクシマ 2011年3月11日から変わった暮らし	内堀 タケシ/写真・文	国土社	E
	38	なんてくさいんだ！ ロンドンを救ったジョセフの物語	コリーン・ペフ/文	あかつき教育図書	E
	39	山の上に貝がらがあるのはなぜ？ はじめての地質学	アレックス・ノゲス/文	岩崎書店	E
	40	小学生のうちから知っておきたい 著作権の基本	宮武 久佳/著	カンゼン	02
	41	消えたレッサーパンダを追え！ 警視庁「生きもの係」事件簿	たけたに ちほみ/文	Gakken	31
	42	ヒロシマをこす 平和記念資料館をつくった人・長岡省吾	佐藤 真澄/著	汐文社	31
	43	故郷の味は海をこえて 「難民」として日本に生きる	安田 菜津紀/著・写真	ポプラ社	36
	44	給食が教えてくれたこと 「最高の献立」を作る、ぼくは学校栄養士	松丸 奨/著	くもん出版	37
	45	星空を届けたい 出張プラネタリウム はじめました！	高橋 真理子/文	ほるぷ出版	44
	46	ニワシドリのみみつをもとめて ものづくりする鳥のふしぎをさぐる旅	鈴木 まもる/著	理論社	48
	47	クジラのおなかからプラスチック	保坂 直紀/著	旬報社	51
	48	オリヒメ 人と人をつなぐ分身ロボット	吉藤 オリィ/著	子どもの未来社	54
49	スマイルカットでみんな笑顔に！ 発達障がいの子どもによりそう美容師さん	別司 芳子/文	佼成出版社	59	
50	チェンジ！	越智 貴雄/著	くもん出版	78	

※ 板橋区立図書館の本は「記号」で分類されています。

※ 書名にアンダーラインのある作品は、今年度選ばれた作品です。

1



「二平方メートルの世界で」

前田海音／文

はたこうしろう／絵

小学館

病院のベッドの大きさは、約二平方メートル。病気で入退院をくり返す海音が、二平方メートルの世界で、家族のことや自分の病気のことを、たくさん感じて、考えます。そんなある日、海音の目にとびこんできたのは…。

2



「おおなわ跳びません」

赤羽 じゅんこ／作

マコカワイ／絵

静山社

毎年恒例クラス対抗「おおなわ大会」。双葉は学級会で「お出ません」と言い出します。足に少しハンディがある双葉の発言に、みんなの心がざわついて…。誰かが誰かのために考えることの大切さを教えてくれる1冊です。

3



「ひみつ箱本屋とひみつの友だち」

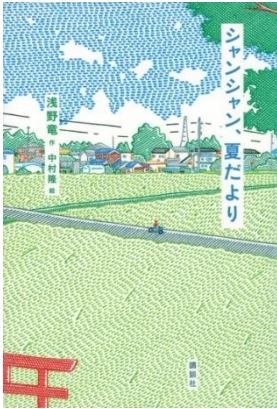
赤羽じゅんこ／作

はらぐちあつこ／絵

さ・え・ら書房

小学5年生の朱莉は、ひと箱本屋カフェ「SHIORI」で売られていた一冊の手作りの本に心を奪われる。作者は同世代の女の子・理々亜。ふたりはある日、「SHIORI」ではじめて会うことになり……。似ているけれど、ちょっと違う二人の物語。

4



「シャンシャン、夏だより」

浅野竜／作

中村隆／絵

講談社

夏休みの始めにノブトは、転校生で変わりの者の川村から「この町で、いままでにクマゼミの声をきいたことってある?」と言われる。この言葉に優等生のカモッチもまきこんだクマゼミ探しをはじめます。

5



「ぼくんちのねこのはなし」

いとうみく／作

祖敷大輔／絵

くもん出版

ぼくんちのねこ、“ことら”は16歳。人間でいうとおじいちゃんだ。最近元気がなくて、病院に連れて行っても、家で点滴をしても、どんどん弱ってってしまう…。最後の時をおかえた“ことら”と、ぼくたち家族の命の物語。

6



「人間になりたかった犬」

今西乃子／作

福田岩緒／絵

新日本出版社

犬童神社に住む白い犬は、人を救うと人間に生まれ変われると言われています。犬のシロは、それを信じて頑張りますが、なかなかうまくいきません。そんな折、期間限定で小学生の男子になれることになり…。犬と人間の友情ときずなの物語です。



「岬のマヨイガ」

柏葉幸子／著
さいとうゆきこ／絵
講談社

地震がきっかけで家族になったひよりとユイママとおばあちゃん。そんななか、津波で封印がとけて、昔話に出てくる海へびが岬をうばおうとする。カッパ、お地蔵様、神様、…不思議な人たちの力をかりて、三人は海へびに立ち向かう。



「風花、推してまいる！」

黒川 裕子／作
タカハシ ノブユキ／絵
岩崎書店

ある日、「無事・無難・無風」がモットーの小学6年生の男の子、成里はひよんなことから地元の大衆演劇を観ることになり、大衆演劇の魅力にのめり込んでいきます。そして、成里は一座の一員である転校生のクラスメイト、紫寿と一緒に、新しい大衆演劇の脚本を考えることに。ぜひ、みなさんも大衆演劇の世界をのぞいてみてください。



「サステナブル・ビーチ」

小手鞠るい／作
カシワイ／絵
さ・え・ら書房

七海は、もやもやした気分で小学生最後の夏休みをむかえましたが、ハワイですてきな女の子ピカクと出会います。「持続的（サステナブル）な海を取りもどすためのアクションを起こす」ことをピカクと約束した七海。彼が起こしたアクションとは？

10



「きさらぎさんちは今日もお天気」
 古都 こいと／作
 酒井 以／絵
 Gakken

しょうがく、ねんせい あおば いえ しんきゅうちりょう
 小学6年生の青葉の家は、鍼灸治療
 いん ちち ふたり おとうと にん く
 院。父と二人の弟の4人で暮らして
 いる。お灸の匂いは嫌なのに「オヤ
 ジ」はわかってくれない。友達に「オ
 ヤジ」から教えてもらったツボ押しを
 してあげると…。

11



「江戸の空見師 嵐太郎」
 佐和みずえ／作
 しまぎジョゼ／絵
 フレーベル館

てんきよほう いま てがる
 天気予報が今ほど手軽ではなかった
 えど じだい そらみ てんきよほう たいそうとくい
 江戸時代、空見(天気予報)が大層得意
 らんたろう しょうねん そらみ うて
 な嵐太郎という少年がいた。空見の腕
 を買われ、12歳にして黒船来航に関わ
 るお役目を受けた嵐太郎が、歴史を動
 かす重大な空見に挑む！

12



「じいちゃんの山小屋」
 佐和みずえ／作
 カシワイ／絵
 小峰書店

とう とうきょう
 父さんとけんかして東京からじい
 ちゃんに住む田舎にやってきた小学
 ろくねんせい こうた でんき すいどう
 六年生の航太。くらすのは電気も水道
 もトイレもない山小屋。じいちゃんの
 てつだ ともだち
 手伝いをするうちに友達ができたり、
 ぼうけん せいちょう
 冒険をしたり、成長していきます。

13



「アリババの猫がきいている」

新藤悦子／作
佐竹美保／絵
ポプラ社

アリババが出張の間に、友人の民芸品店を営む男性に預けられることになった、猫のシャイフ。人の言葉を理解するシャイフだが、ある夜、民芸品たちの話し声が聞こえてきて…。人やモノの言葉がわかる猫がつないでいく、不思議な物語。

14

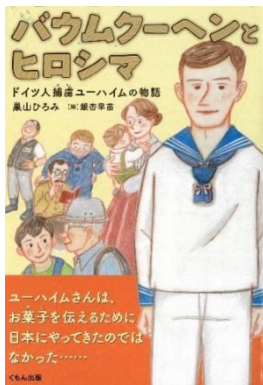


「チポロ」

菅野雪虫／著
講談社

森に囲まれた村で暮らすチポロ。ある日、海の向こうから魔物が現れ幼なじみのイレシュがさらわれてしまう。三年が過ぎ、魔女が現れる村の噂を聞いたチポロは、ミソサザイの神と一緒にイレシュを探しに行くのだった。(3部作)

15



「バウムクーヘンとヒロシマ」

巢山ひろみ／著
銀杏早苗／絵
くもん出版

小学6年生の颯太は、バウムクーヘンを愛する男の子。ある夏、ヒロシマで行われるバウムクーヘンづくり体験に参加することに。どこでも作ることができるのに、なぜヒロシマなのか？身近なモノを通していろいろなことを知ることができる1冊。



「夏に、ネコをさがして」

西田俊也／作
徳間書店

7月の終わり、6年生の佳斗は、亡くなったおばあちゃんが住んでいた家に引っ越した。おばあちゃんがかわいがっていたネコをさがして歩くうちに、蘭というちょっと変わった少年と知り合う。ネコがきっかけで出会った少年たちのひと夏の冒険物語。



「あぐり☆サイエンスクラブ」

(全3巻)

堀米薫／作
黒須高嶺／絵
新日本出版社

農業は科学、田んぼは宇宙！野外活動、合宿ありの言葉に誘われて入会した「あぐり☆サイエンスクラブ」、活動内容は一年かけてのお米作りだった。水と土と命のめくるめくサイエンスワールドへ遊びに来ませんか？



「ぼくたちのいばしょ」

電島小多国籍探偵クラブ

松丸奨／著
くもん出版

小6の春馬と秀則は二人で新聞委員をしている。そこにネパールから引越してきた女の子「サラダ」が加わることに。そんな折、次々と事件が…。新聞委員はいつのまにか探偵クラブに？様々なルーツをもつ子どもたちが友情を育んでいく物語。



きんいろ やくそく
「金色の約束」

松本聰美／作
黒須高嶺／絵
国土社

なかよ
仲良しだったけどある一言がきっかけ
で話さなくなってしまった5年生の
こうき ともひこ どうぐ あず ふたり な
光輝と智彦。道具を預かった2人は亡
くなったおじいちゃんと約束していた
さきんと い たんけん
砂金採りへ行くことに。探検してい
うちに光輝はあることに気づき始めて
…。友情と冒険の物語。



みしま ゆ う どうせんかくじつ
「三島由宇、当選確定!」

まはら三桃／著
講談社

ねんせい ほんやす ゆ う は どう
5年生の春休み、由宇はお父さんの
ほんたい しゅうぎんぎいん
反対をおしきって、衆議院議員のおじ
いちゃんの選挙の手伝いをするこ
に。由宇は精一杯おじいちゃんを応援
しますが、思いもよらない事件がおこ
ります。はたしておじいちゃんはとうせん
できるのでしょうか。最後に選挙のし
くみの解説つき。



まほう
「魔法のほね」

安田登／著
亜紀書房

ふしぎ みせ こだいもし きぎ まほう
不思議な店で古代文字が刻まれた魔法
のほねを手に入れた、たつき。
こだいもし かいどく いみ し
古代文字を解読し、その意味を知った
たつきは、かおる、風太と共に
こだいちゅうごく まほう
古代中国へタイムスリップ!魔法のほ
ねが予知する未来をかえるため、数々
の試練に挑む。



「昨日のぼくのパーツ」

吉野万理子／著
講談社

アイドルはトイレに行かない?! 友達との会話から「学校でウンコしない競争」をする事になった大志。便秘に悩んでいた大志は誰もが見ていないと抱えていると感じ、自由研究で調べる事にした。さあ恥ずかしがらず、みんなで話そう。



「希望の図書館」

リサ・クライン・ランサム／作
松浦直美／訳
ポプラ社

ラングストーンは、父とふたりで田舎のアラバマから大都市シカゴへ引っ越してきたが、新しい生活になじめず苦しい日々を送っていた。そんな時、彼はぐうぜんに誰でも自由に入れる図書館を見つける。そこは、彼の希望の場所となった。



「その魔球に、まだ名はない」

エレン・クレイジス／著
橋本恵／訳
あすなろ書房

ケイティは、野球が大好きな女の子。ピッチャーでだれにも打てない魔球が投げられる。ある日、リトルリーグのテストを受けることになった。デイブ・コーチは「すごいぞ! 本当に」とほめてくれた。テストには合格したが…。

25



「ぼくたち負け組クラブ」

アンドリュー・クレメンツ／著
田中奈津子／訳
講談社

本が大好きなアレックは、放課後プログラムの中で「負け組クラブ」という名の読書クラブを設立する。初めは、ニーナと二人でただ本を読むだけだった。

26



「ぼくと石の兵士」

リサ・トンプソン／著
櫛田理絵／訳
PHP 研究所

発言することや、友達と関わることが苦手なオーエン。そんな彼のひそやかな楽しみは、公園の石の兵士に話しかけること。しかし、石の兵士は取り壊されることになったという。葛藤の末、オーエンがとった行動とは…!?

27



「起業家フェリックスは12歳」

アンドリュー・ノリス／著
あすなろ書房

フェリックスが、おかあさんのたんじょう日にプレゼントしたのは友だちが作ったカード。そのカードがいつの間に大ひょうばんに!そこで、フェリックスとなかまたちは、自分たちでカードを売る仕事をしようと考えます。

28



「プーさんの戦争 世界一有名なクマのお話」

リンジー・マティック／文
ジョシュ・グリーンハット／文
ソフィー・ブラッコール／絵
評論社

「クマのプーさん」を知っていますか？ 実はプーさんにはモデルになった子グマがいるんです。もちろん、友達のクリストファー・ロビンにも。これは第一次世界大戦中、プーさんがクリストファー・ロビンに出会うまでの物語。

29

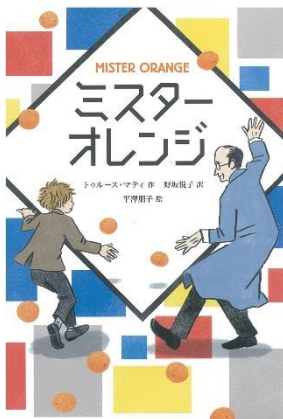


「おじいちゃんとの最後の旅」

ウルフ・スタルク／作
キティ・クローザー／絵
菱木晃子／訳
徳間書店

ウルフの入院中のおじいちゃんはすぐくちが悪い。でも、ウルフはおじいちゃんが大好きです。おじいちゃんのためウルフは病院を抜け出す計画を立てます。目的地はおばあちゃんとの

30



「ミスターオレンジ」

トウルース・マティ／作
野坂悦子／訳
平澤朋子／絵
朝北社

第二次世界大戦中のニューヨーク。八百屋の三男ライナスが箱いっぱいのおレンジを届けた相手はひとりの画家だった。ライナスと画家は親しくなり、画家を「ミスターオレンジ」と慕うようになる。

31



「テオの「ありがとう」ノート」
 クロディーヌ・ル・グイック
 =プリエト／著
 坂田雪子／訳
 PHP研究所

くるま せいかつ ひと たす
 車いすで生活するテオ。ひとに助けら
 れ、これまで多くの「ありがとう」を
 いう いう おお
 言ってきた。でも、もうありがとうは
 い いわな い。そう決心して、日常のこ
 じぶん どりよく はじ いっぱ
 は自分でするよう努力を始める。一歩
 いっぱまえ すす せいちよう ものがたり
 一歩前に進むテオの、成長の物語。

32



「ことばハンター
 国語辞典はこうつくる」

飯間浩明／著
 ポプラ社

ことばハンターとは国語辞典をつくる
 ため、ことばを集める人のこと。集め
 たことばをもとに説明を書いて国語
 辞典は作られています。国語辞典を
 作る人の視点で書かれた辞書づくりの
 面白さが伝わる本です。

33



「ぼくがゆびをばちんとならして、
 きみがおとなになるまえの詩集」

齊藤倫／著
 高野文子／画
 福音館書店

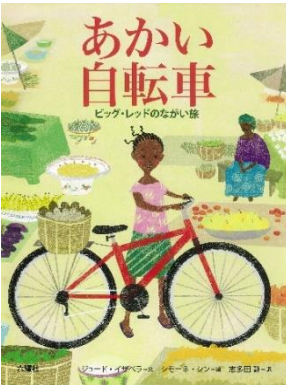
詩はむずかしい？詩はわからない？詩
 はでたらめ？おとなの「ぼく」と
 小学生の「きみ」がいっしょに詩を
 よ読みながら、ことばの持つ不思議さや
 たの 楽しさについて考えていく物語。



「自由への道」
 奴隷解放に命をかけた黒人女性
 ハリエット・タブマンの物語

池田まき子／文
 丹地陽子／絵
 学研プラス

19世紀のアメリカでは南部を中心に多くの奴隷たちが働かされていた。奴隷であった黒人女性ハリエットは奴隷主のものを脱出し、やがて秘密組織「地下鉄道」の一員として、黒人奴隷たちを北部に逃がすための手助けをしていく。



「あかい自転車」
 ビッグ・レッドのながい旅

ジュード・イザベラ／文
 シモーネ・シン／絵
 志多田静／訳
 六耀社

レオはお金をためて、あかい自転車を買いました。「ビッグレッド」と名前をつけて、とても大切にしていたレオですが、成長したレオにビッグレッドは小さくなってしまいます。



「すごい! ミミックメーカー」

生き物をヒントに世界を変えた発明家たち
 竹内薫／監修
 ノードストロム／文
 ボストン／絵
 今井悟朗／訳
 西村書店

ミミックメーカーとは生き物の体の仕組みや構造を解き明かし真似をして便利な発明品を作る発明家のこと。この本では10人のミミックメーカーたちの人々を助け世界を変えた発明品が紹介されています。



「フクシマ」
ねん がつ にち から かわ った くらし
2011年3月11日から変わったくらし
内堀タケシ／写真・文
国土社
ねん がつ にち ひがしにほんだいいしんさい
2011年3月11日に東日本大震災が
はっせい ふくしまだいいちげんしりょくはつてんじょ
発生しました。福島第一原子力発電所
からは大量の放射性物質が放出され
ました。多くのおおひとがふるさとを離れ、
今ももどれないでいます。この本はた
くさんのしゃしんしんさいごふくしまつた
くさんの写真で震災後の福島を伝えて
います。



「なんてくさいんだ！」
ロンドンを救ったジョゼフの物語
すく ものがたり
ロンドンを救ったジョゼフの物語
コリーン・ペフ／文
ナンシー・カーペンター／絵
金原瑞人／訳
あかつき教育図書
せいき 19世紀ロンドン・テムズ川では人々の
はいせつぶつ げんいん あくしゅう びょうき
排泄物が原因で悪臭や病気がいった
もんだい お えほん
問題が起こっていました。この絵本は
どぼくぎし かいけつさく
土木技師ジョゼフがその解決策として
あたらし げすいどう つく あ
新しい下水道システムを作り上げた
ねんげつ えが れきしえほん
年月を描いた歴史絵本です。



「山の上に貝があるのはなぜ？」
はじめての地質学
アレックス・ノゲル／文
ミレン・アシアイン＝ロラ／絵
宇野和美／訳
岩崎書店
やま うえ うみ す
山の上に海に住んでいるはずのカキの
かい
貝があるのはなぜ？そのなぞは山
の<地層>を見れば解けるんです。
ちしつがくにゆうもん えほん
地質学入門にぴったりの絵本。



「小学生のうちから知っておきたい
著作権の基本」

宮武 久佳／著
杉本 龍一郎／イラスト
カンゼン

「著作権」とは、作品を作った人を守って
くれる権利ですが、子どもたちにはあ
まりよく知られていません。

スマホやタブレットを日常的に使うオ
ンライン時代に、知っておいてほしいル
ールがまとめられている本です。



「消えたレスラーパンダを追え!
警視庁「生きもの係」事件簿」

たけたにちほみ／文
西脇せいご／絵
学研プラス

こちらは警視庁「生きもの係」。ここ
であつかうのは、めずらしい生きもの
などがぬすまれたり、勝手に売り買い
されたり、という事件です。次々とも
ちこまれる事件の記録はまるでミステ
リー。読めばきっと、生きものについ
て考えてみたくなりますよ。



「ヒロシマをのこす

平和記念資料館をつくった人・長岡省吾」
佐藤真澄／著
汐文社

原爆によって廃墟となった広島で、
熱線で溶けた瓦や石ころなどの「ガ
ラクタ」を拾い上げ、集めてまわるひ
とりの男がいた。のちに広島平和
記念資料館の初代館長となる長岡
省吾の自伝的物語。



「故郷の味は海をこえて」
「難民」として日本に生きる」

安田菜津紀／著・写真
ポプラ社

日本で暮らす外国人の中には、どうしても自分の国で暮らすことができなくなって、生きるために日本に来た人たちがいます。そんな「難民」とよばれる人たちが、日本に来るまでのこと、生まれた国のことなどを、故郷の料理をつくりながら話してくれました。



「給食が教えてくれたこと」

「最高の献立」を作る、ぼくは学校栄養士」
松丸奨／著
くもん出版

栄養士とはどのような仕事でしょうか？ 子どもの頃給食が苦手だった著者が学校栄養士になり、奮闘する姿を描いたノンフィクションです。「食」の大切さを伝え、食品ロスやSDG'sなどの社会問題についても考えることのできる1冊です。



「星空を届けたい」

出張プラネタリウム、はじめました！」
高橋 真理子／文
早川 世詩男／絵
ほるぷ出版

みなさんは病院でプラネタリウムを観られることを知っていますか？ この本は、長期の入院などで外出ができない子どもたちのために、「出張プラネタリウム」を始めた高橋真理子さんのお話です。この本を読み終わった後には、きっと星空を見上げたくくなりますよ。



「ニワシドリのひみつをもとめて
ものづくりする鳥のふしぎをさぐる旅」
鈴木まもる／著
理論社

著者が子どもに出会った「もの
づくりをする鳥」の写真。大人になり
絵本作家となった著者はそのなぞを解
くため、南半球に旅立ちます。ふし
ぎな鳥「ニワシドリ」のひみつにせま
るイラストたっぷりの旅行記です。



「クジラのおなかから
プラスチック」
保坂直紀／著
旬報社

海岸のプラスチックごみ。環境問題
はどこかの国ではなく、あなたの目の
前で始まっています。気づかないうち
にプラスチックを食べているかも知れ
ません。正しい情報と知識を身につ
けて自分たちの未来を変えましょう!



「オリヒメ
人と人をつなぐ分身ロボット」
吉藤オリィ／著
加藤悦子／文
子どもの未来社

OriHimeは、病気やケガなどで外出で
きない人が、パイロットとなり、操作
する分身ロボットです。孤独をなくし
たいという思いから生まれたOriHime
は、どのように生まれ、どのように活
やくしているのでしょうか。



「スマイルカットでみんな笑顔に！」

発達障がいの子どもによりそう美容師さん
別司 芳子／文
佼成出版社

ヘアカットの苦手な子どもたち一人一人にあった方法で髪を切る「スマイルカット」。発達障がいの子どもたちにヘアカットを少しでも好きになってもらうため、失敗しながら挑戦する美容師さんの物語。



「チェンジ！」

越智貴雄／著
くもん出版

障がいをもつパラアスリートを追いつけるカメラマンが、これまでに会った選手や彼らを支える人との思いを書いた本。障がいをもつ人への偏見や、障がいに負けず自分らしくあろうとする人たちのことも書かれています。

令和8年度

みなさんにおすすめしたい本

高学年

令和8年4月発行

編集 板橋区教育会学校図書館研究部

板橋区立図書館児童担当者会

発行 板橋区立中央図書館